

レジウスカセット RC-110

【形状、構造等】

コンピューテッドラジオグラフに使用する放射線用フィルムカセット(レジウスカセット RC-110:以下Rカセットという)の一般的構造を示します。

1.Rカセットバック板

内側に光輝性蛍光板(レジウスプレート RP-3S:以下RPという)が貼り付けられています。

サイズ表示ラベル

Rカセットのサイズが記されています。

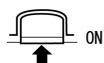
鉄箔部分

ダイレクトディジタイザー DD-741(以下REGIUS MODEL 170という)内部の上下搬送部(マグネット)に、張り付けさせるための鉄箔です。

ツメ

バック板とフロント板をロックするためのツメです。開閉ロックに連動し、作動します。Rカセットのサイズによりツメの数が異なります。

開閉ロック



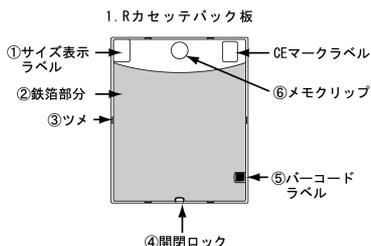
Rカセット内のRPを清掃する際、開閉ロック部を押し、ロックを解除してRカセットを開きます。ロックON/OFF状態を交互に繰り返します。

バーコードラベル

Rカセットタイプ、RPバージョン等の情報が記されています。

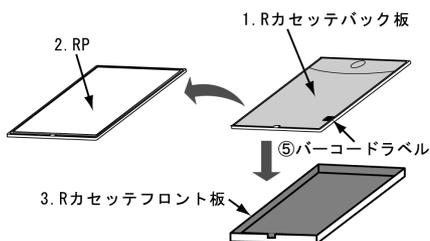
メモクリップ

患者名称等を記入したメモをはさむことができます。



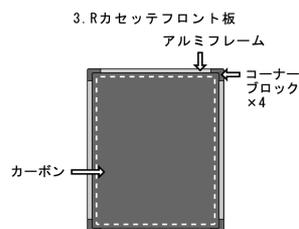
2.光輝性蛍光板(レジウスプレート RP-3S:以下RPという)

X線画像データを記憶します。



3.Rカセットフロント板

RPを保護します。



【性能、使用目的、効能又は効果】

RカセットはX線撮影等に使用します。

【操作方法又は使用方法等】

- 1.Rカセットを用いて、X線撮影を実施します。
- 2.X線撮影に使用したRカセットを、REGIUS MODEL 170のスタッカー部から投入します。
- 3.REGIUS MODEL 170内でRカセットバック板と一体化した撮影済みのRPをRカセットフロント板と分離し、画像データを読み取り、画像処理を行います。
- 4.読み取りが終了したRPは画像データが消去され、Rカセットフロント板と合体された状態でREGIUS MODEL 170内からスタッカー部へ排出されます。

【使用上の注意】

- 1.高温、高湿、直射日光、各種放射線等のあたる場所、並びに水がかかる場所では使用しないこと。
- 2.10~30℃、80%RH以下の条件で使用すること。
- 3.RカセットをREGIUS MODEL 170に投入する時は、開閉ロックがロック状態になっていることを確認すること。
- 4.Rカセットバック板にメモおよびシール等を貼り付けたまま、REGIUS MODEL 170に投入しないこと。
- 5.Rカセットバック板のメモクリップにカード等を付けたまま、装置に投入しないこと。
- 6.Rカセットバック板の鉄箔部分を汚したり、剥がしたり、シール等を貼らないこと。やむをえず貼る場合は、鉄箔部分以外のところに貼ること。Rカセットを投入する際は必ず貼ったものを剥がすこと。
- 7.Rカセット内部に水等の液体や、ピン、クリップ等の異物が入らないように、注意しながら使用すること。
- 8.Rカセットは落下させたり、折り曲げたり、強い衝撃を与えたりすると変形、破損することがあるので、丁寧に扱うこと。
- 9.Rカセットにキズつけたり、変形させないように注意すること。特にフロント板のキズは、X線画像に影響する可能性がある。
- 10.バーコードラベルがはがれたり、キズがついたり、汚れたりすると読み込みが出来なくなる場合がありますので、注意して扱うこと。
- 11.Rカセットを開いたまま、長期間蛍光灯の下で放置し

- ないこと。
12. カセットジャム発生時、バック板とフロント板を分離した状態で長時間放置しないこと。
 13. RP の装填 / 取り出し時に、RP の蛍光面や R カセット内部の部品を損傷したり、汚したりすることのないように注意すること。
 14. アルミフレーム板の内側約 5mm は、画像領域として保証されないので注意すること。
 15. R カセットを分解したり、修理および改造を行ったり絶対にしないこと。画質低下や、R カセットの搬送に支障をきたす原因となる。修理が必要な場合は最寄りの弊社サービス窓口に連絡すること。
 16. クリーニングで使用する無水エタノールは、化学薬品である。薬品メーカーの取扱注意事項を守ること。
 17. R カセット内側に貼り付けている RP には、光輝尽性蛍光体と X 線による散乱防止の為に鉛が使用されているので取り扱いには注意すること。
 18. R カセットを廃棄する場合は、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管方法

R カセットは水のかからない場所に保管してください。

R カセットは高温高湿やほこりの多い場所、直射日光が当たる場所や強い紫外線を含む各種放射線のある場所を避けて、10～30℃、80%RH 以下の場所に保管してください。

R カセットフロント板と R カセットバック板を分離した状態で保管しないでください。

R カセットを平積みすると変形する可能性があるため、必ず立てて保管してください。

R カセットに荷重をかけて変形させないでください。

2. 使用耐用年数（自主基準）

使用耐用年数は密着性、遮光性の低下、変形、外部の損傷により、診断画像の劣化をきたすまでとし、このような場合には、新品の R カセットと交換してください。

【保守・点検に係る事項】

1. R カセットの使用・保守の管理責任は使用者側にあります。

2. R カセットを安心してご使用いただくために、使用者による日常及び定期点検を必ず行ってください。

（1 回 / 週）

REGIUS MODEL 170 での機械搬送性の確認

表面の汚れの有無（特にバーコードラベルの汚れ）
確認とクリーニング：不織布に無水エタノールを少量含ませ清掃してください。

外部の損傷程度の確認（R カセットロック部、フレーム変形等）

3. 故障時の対応

RP 表面が著しくキズついた場合

RP 蛍光体表面の保護フィルムがキズついたり、破れたりした場合、直ちに使用を中止し新品と交換してください。

落下等により、R カセットが変形した場合

読取装置内での RP 搬送動作に支障を与えるおそれがありますので、直ちに使用を中止し新品と交換してください。

ロック部のツメが1つでも壊れた場合

REGIUS MODEL 170 内読取部の RP 搬送動作に支障を与えるおそれがありますので、直ちに使用を中止し新品と交換してください。

バック板のクリップが壊れた場合

壊れた状態によっては、修理できる場合があります。

撮影画像に故障（画像欠点）が出た場合

RP 表面にキズ、ゴミ、異物等がないか確認し、プレートクリーニングを行ってください。クリーニング後再度テスト撮影し、診断に支障がある場合には使用を中止し新品と交換してください。

【包装】

品目、サイズはそれぞれの商品の個包装上に明記してあります。

【製造業者又は輸入販売業者の名称および住所等】

製造業者名：コニカミノルタテクノプロダクト株式会社

住所：〒350-1328

埼玉県狭山市広瀬台 2-2-1

電話番号：042-954-8869

販売会社名：コニカミノルタエムジー株式会社

住所：〒163-0512

東京都新宿区西新宿 1-26-2

電話番号：03-3349-5175（代）